

環境配慮個票

事業名	農村地域防災減災事業	地区名	窪川2期	受益面積	23.5ha
関係市町村名	四万十町	予定工期	平成31年度～平成35年度		
総事業費	525,704千円	H31年度以降事業費	525,704千円		
総事業量	ため池改修 3池 下谷池・小屋ガ谷池 小久保川下池 ため池廃止 1池 真弓ノ川池	H31年度以降事業量	ため池改修 3池 下谷池・小屋ガ谷池 小久保川下池 ため池廃止 1池 真弓ノ川池		
マスタープランの区分	環境配慮区域	自然公園等の指定	無		
既存資料による希少種の情報の有無	有 (H26 H29 環境調査資料)				
周辺の環境	<p>本地区は四万十川の中流域に位置し、標高約230mの台地で、気候は年間を通じて温暖であり、降雪はほとんどない。年間平均気温は約15°C、年間降水量は約2600mmで、主に水稻、ショウガが栽培されている。</p>				
地区の環境の特性	<p>・概況 下谷池は南西、小屋ガ谷池は北東、小久保川下池は南向きにそれぞれ開けており、3池ともにアカマツ、コナラのほか、スギ、ヒノキの植林に囲まれている。</p> <p>・植物 環境調査により、下谷池周辺で64科163種(希少種1種)、小屋ガ谷池周辺で66科163種(希少種3種)小久保川下池周辺で58科155種(希少種2種)、真弓ノ川池周辺で54科131種(希少種2種)、合計で94科288種(希少種6種)が確認された。</p> <p>・動物 昆虫類は、下谷池周辺で38科54種(希少種1種)、小屋ガ谷池周辺で32科49種(希少種2種)、小久保川下池周辺で33科43種(希少種1種)、真弓ノ川池周辺で22科33種、合計で54科102種(希少種3種)が確認された。</p> <p>両生類・魚介類については、真弓ノ川池で実施。両性類1科1種、魚介類2科2種で、特定外来種のおオクチバスが確認された。</p>				
配慮すべき事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 確認された希少植物の保全または移植 2 確認された希少昆虫の生息場所の保全 3 池内に生息している魚類の保護及び外来種の駆除 				
配慮方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 極力、希少植物の確認された位置を回避する設計を検討する。 2 工事範囲付近の希少植物は、木杭・テープ等で囲むなどして、立ち入らないようにする。 3 工事の影響が避けられない希少植物は、付近の生育地に移植する。 4 工事中は仮池の設置により、希少植物、魚類、昆虫の生息場所を確保する。 5 池内に生息する魚類については、工事に伴う池干し時に捕獲して保護する。その際に外来種が確認された場合は駆除する。 				